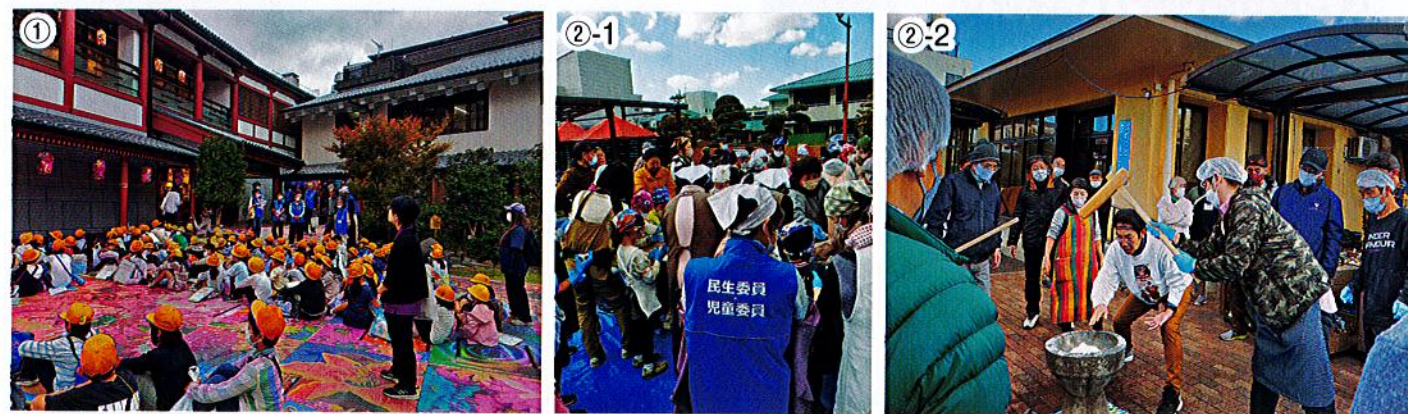


道後地区社協関連ニュース (2023.3~2024.2)



- ① 第12回 道後温泉入浴体験事業 11月6日(月)
飛鳥の湯泉、椿の湯、第四分湯場、冠山、空の散歩道、湯神社、中嶋神社等の見学、説明を聞き故郷の歴史を学びました。
- ② 三世代交流餅つき大会 12月2日(土)
道後公民館前のスペースがエレベータ工事のため使えず、道後町2丁目の「ばれっと道後(愛媛県知的障がい者更生訓練校)」様のご協力で行いました。湯築・道後小学校の児童とばれっとの人たちで楽しく交流しました。
- ③ 第10回 サロン交流会 12月11日(月)
道後地区の65歳以上の高齢者が、心身機能の維持向上及び介護予防を目的に、開催している3サロンに加え、マンション住民を母体とした(簡易型の)「サロン紅葉」が発足し、互いの工夫した点や苦勞した事などの情報交換を行い、交流を深めました。

地域の話

その1 昨年4月より道後地区社会福祉協議会会長に就任されている石手4丁目の向井益子さんからのメッセージです。



『9年間会長をされた藤家壽さんから会長職を推され、無事1年経ちつつありますが、藤家前会長の数かたのレールと併せ社協会員の皆様のご協力のおかげであります。障がい者や高齢者だけでなく、子育て中の若いご家庭も含めての「道後の社会福祉」だと思いますので、元来スポーツ好きな私のこれまでの交友関係も活かしながら頑張っていきたいと思っています。』

その2 愛媛県民生児童委員協議会会長に就任されている戒田民子さんからのメッセージです。

『「地域住民とつながる活動」を目指しています!! 日頃から民生児童委員活動に、ご理解とご支援をいただきありがとうございます。私たちは、地域の困りごと相談のつなぎ役として活動をしています。「困ったことがあれば民生委員に相談してみよう」と思われる親しい委員となるよう努めてまいりたいと思っています。地域の皆様の相談相手として身近にいることを心にとどめておいてください。』

松山市版ご当地ミンジー



民生委員・児童委員を多くの方に知っていただくためのキャラクターとして、東京で生まれました。協力して子育てをするペンギンの姿を通して、「地域における支え合いを目指す」「社会全体で子育てを応援する」活動に取り組む姿を表しています。「民生委員」「みんな」のミンと、「児童委員」「主任児童委員」「児童」のジーで、「ミンジー」です。

編集後記

第1面右上の人口の表示欄ですが、今年から「若年齢人口」を追加表示しています。この数値の推移が日本社会の未来に大きく影響すると思われます。

編集委員
啓発調査部長 藤井 康

令和4年12月1日に民生児童委員一斉改選がありました。旧役員の方、長い間ありがとうございました。

担当地区	退任者	新任者
石手1丁目(2番28号除く) 常光寺一部	藤家 壽 (9年8カ月)	高橋 康博
石手2丁目(1・2・6~8・11) 常光寺一部	田村 勝俊 (24年)	松本 史孝
石手4丁目(1~3)	小椋 勝志 (2年8カ月)	池田 義紀

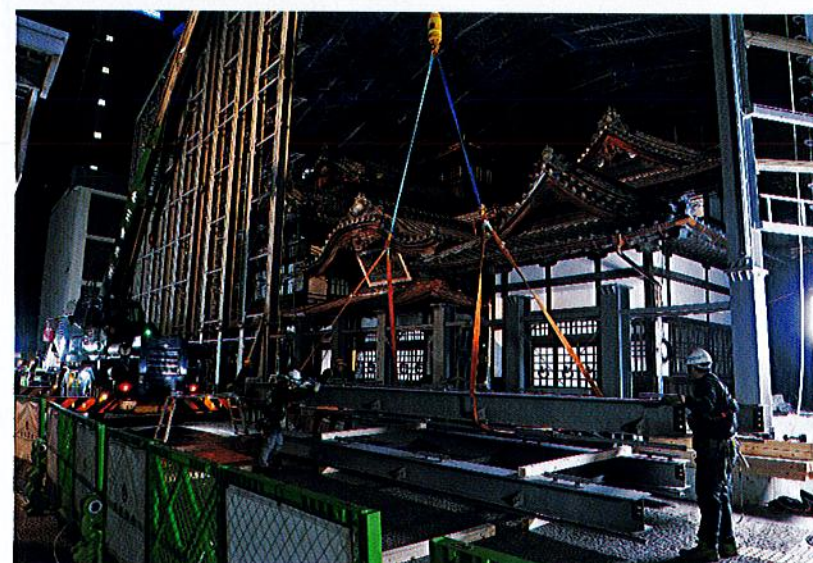


道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,295世帯
人口	11,076人
男性	5,112人
女性	5,964人
65歳以上	2,874人
高齢化率	25.9%
若年齢人口	1,558人
(令和6年2月1日現在)	
編集・発行 道後地区社会福祉協議会	

改築130周年を迎える道後温泉本館が約5年半ぶりに全館営業再開!!

日本最古といわれる道後温泉のシンボルである「道後温泉本館」は、道後湯之町初代町長の伊佐庭如矢が、100年後の道後の繁栄を見据え、幾多の苦難を乗り越えて、明治27(1894)年に改築した日本を代表する公衆浴場です。これまでの長い年月の間に、その時代の技法を取り入れ、移築や増改築を繰り返し、主に4つの建物が組み合わさった非常に複雑な形態をした建築物で、平成6(1994)年に日本の公衆浴場として初めて、国の重要文化財に指定されました。



歴史をつなぎ 未来へのこす 道後温泉本館 保存修理工事

〈道後温泉本館の改築について〉

松山藩時代に藩主により一の湯〜三の湯と整備されていましたが、老朽化していました。明治23(1890)年道後湯之町初代町長伊佐庭如矢は、100年後の地域発展の構想を練り、箱根温泉や別府温泉にも負けず日本最古にふさわしい、とはいえ財政危機必至の本館建築を決意します。猛反対の住民も多く、苦勞の末反対派の説得にも成功します。大量のケヤキとツガの良材を久万高原町に求め、庵治石と大島石を手配し、賛同者の財産提供や担保提供等も得て、明治27(1894)年に落成したのが130年前ということです。翌年に夏目漱石と正岡子規が入浴し、小説「坊っちゃん」の記述につながります。(追記) 如矢と住民のやりとりが伊予訛りのまま描かれ、稀代の大計画を成し遂げた道後の誇りを描いているのが「道後の夜明け 伊佐庭翁ものがたり」という小冊子で子規博士1階の書籍販売コーナーにあります。



赤い羽根 共同募金のお礼

道後地区共同募金会

地区のみならずはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和5年度共同募金に積極的にご協力いただき、誠にありがとうございました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきサロン事業等に活用されています。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

サロン活動

地域の65歳以上の人達で作る健康維持などのためのサークルです。道後地区には3サロンあります。

近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。

(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、地区社協の最も大きな事業で、地区社協OBも大勢支援しています。

令和5年度は、3サロンに加え、マンション「ライオンズガーデン松山紅葉町」内の発起人による緩和型「サロン紅葉」が誕生しました。高齢化しつつあるマンション住民がコミュニティや健康増進のためにやっているもので、今後はこのようなサロンの増加が見込まれます。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	村井 和子 977-0930	石手分館	第1~3水曜日	13時半~15時
	脳トレ・まつイチ体操・「しゃぼん玉」のハーモニカ演奏・辰のえと飾り			
②道後サロン・マドンナ (男性5名 女性6名)	油野 秀樹 921-0227	道後公民館	第2・4火曜日	10~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・スカットボール・原田氏のヨガ			
③フレアイサロン道後 (男性1名 女性16名)	山田 妙子 921-6910	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時
	脳トレ・手芸(風鈴づくり)・リンパマッサージ・フラワーアレンジメント			



道後小学校

校長 佐藤 郁子



この度、道後小学校長を拝命しました佐藤郁子です。道後小学校は、今年で創立134年になる歴史ある伝統校です。私は第31代目の校長ですが、何と初の女性校長です。何とも感慨深く、責任の重さも感じていますが、ここ道後小に赴任できたことは、私の人生において、とても幸せなことです。

Q1：ご自身の趣味は？

私は、準上級レクリエーション指導者やおもちゃインストラクターという資格をもっています。休日には、ボランティアとしてイベントブースでレクリエーションや木のおもちゃ&手作りおもちゃなどを使って会場に来られた方々と楽しんでいます。人と関わること、みんなの笑顔を見ることが大好きです。

Q2：愛読書は？

私は絵本が大好きです。いつも絵本に癒されています。校長講話でも紹介しています。

Q3：日頃心掛けていることは？



私の教育のモットーの一つ、それは、美しい日本語を使うこと。「言葉で人を育てる」ことです。私は、毎日、時間の許す限りカメラを持って、学校探検に出かけています。そして、子どもたちや教職員のすてきな姿を写真に撮り、言葉を添えて掲示しています。

Q4：貴重な体験は？

文部科学省主催の長期研修に2回にわたって参加させていただいたことです。一つ目は、中堅教員を対象として、学校管理や学習指導などの問題についての指導力向上を目的とした中央研修講座に約1か月間行かせていただきました。全国各地の教員200名と一緒に学び合うことができたこと、その仲間と今でも情報交換が行えていることは私の宝物の一つです。もう一つは、海外の教育事情を視察調査し、国際的視野を広めることを目的とする教員海外派遣制度で、アメリカのボストンに2週間滞在したことです。幼稚園から大学まで視察し、日本では当たり前前のことがそうではないことにとても驚いたこと。本当に貴重な経験をさせていただきました。

子どもたちが、「学校は楽しい。みんなと一緒に勉強がしたい」と言える学校、保護者の皆様が「行かせたい」と感じていただける学校、地域の皆様に「自慢できる」と言ってもらえる地域の学校となるよう校長として精一杯頑張ります。



道後中学校

校長 横江 茂樹



Q1：道後出身と聞きましたが、当時の中学校の思い出は？

小学生の頃、当時の道後中学校は生徒数が多かったためか、清掃の時間に半分の生徒は運動場で体操をしていたのを道端から見えていました。入学後は、訂正ノートを見てもらうため、朝、昼、放課後には職員室に生徒の列ができていたことが印象的でした。生徒も大変でしたが、当時の先生方も大変だったと思います。

Q2：愛読書は何ですか？

推理小説が好きで、学生の頃は松本清張や森村誠一の作品をよく読んでいました。中でも、父親が持っていた高木彬光の「白昼の死角」は、何度も読み返すくらいのお気に入りであり、「ジンギスカンの秘密」を読んだ後からは、歴史推理小説にもハマりました。現在は、「下町ロケット」で有名な池井戸潤作品が読みやすく気に入っています。

Q3：健康のために何か続けていますか？

土・日や休日には、5kmのジョギングを10年間ほど続け

ています。まったく息切れを起こさない程度の超低スピードで走っています。

Q4：今年度の思い出に残ることは何ですか？

今年度は生徒からたくさんの笑顔と感動をもらいましたが、11月に行った合唱コンクールが特に印象に残っています。これまでは学級対抗で行っていましたが、体育大会に引き続きブロック対抗で行うこととし、会場をコミュニティーセンターのキャメリアホールで実施しました。各ブロックとも3年生の実行委員が練習を引っ張り、朝と放課後の時間を使ってブロック別に練習を重ねていました。毎日のように練習を見て回りましたが、1か月半の間、実行委員を中心に全員が集中して練習に取り組んでいる姿に、「学校はいいなあ。」と改めて感じました。当日のコンクールは、ホールの良さを存分に味わうことができ、生徒も貴重な体験ができたようです。練習も含めて、素晴らしいコンクールになりました。

